

「第 29 回環境教育・環境学習ネットワーク会議」議事録

- 1 日 時：令和元年 7 月 9 日（火） 15:00～17:00
- 2 場 所：横須賀市役所 3 号館302会議室
- 3 出席者：桐谷副座長、市下構成員、稲構成員、内船構成員、佐藤構成員、
高橋直人構成員、高橋正明構成員、野崎構成員、吉田構成員、渡辺構成員
（計10名）
- 4 事務局：環境政策部環境企画課（松尾課長、鈴木係長、大場主任、九富）
- 5 傍聴者：なし

◆ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 報告
(1) 傍聴実施要領の改正について
(2) 令和元年度環境教育指導者等派遣事業の実施について
- 3 議題
(1) 今後の「環境教育・環境学習ネットワーク会議」について
- 4 その他

※高橋座長欠席のため、「環境教育・環境学習ネットワーク会議設置要綱」第 4 条第 3 項の規定により、桐谷副座長により会議を進行

◆報告 1 傍聴実施要領の改正について

〔事務局からの説明〕

「環境教育・環境学習ネットワーク会議傍聴実施要領」について、これまで、市の会議ごとに傍聴受付の締切時刻にバラツキがあったことから、市民の方々に分かりやすくするため、これを統一し、傍聴受付の締切時刻を会議の開会時刻 10 分前としたため、当会議においても改正した。また、「委員」を「構成員」へ、「委員長」を「座長」へ文言の修正を行った。

桐谷副座長

ただ今の報告に対してご意見等はあるか。

ご意見等がないようなので、傍聴実施要領の改正について了承する。

◆報告 2 令和元年度環境教育指導者等派遣事業の実施について

〔事務局からの説明〕

「環境教育指導者等派遣事業」について、事業内容を見直し、実施要領を改正した。

桐谷副座長

ただ今の報告に対してご意見等はあるか。

高橋正明構成員

資料2-2「環境教育指導者等派遣事業実施要領新旧対照表」の「令和元年度（案）」の「2環境教育指導者の要件」の「(2) 市民活動団体、(3) 市内企業等」では、団体で登録することになっている。

団体には色々な人がいると思うが、その部分も含めて団体で責任を持つという考え方で、具体的に誰が指導者になるのかは、ここでは規定していないとの考え方でよろしいか。

事務局（大場主任）

どの団体でも登録できるわけではなく、要件を満たす市民活動団体が環境教育指導者として登録できることになっていて、市内企業等も同じである。

事務局（松尾課長）

団体として登録していただくには、要領に記載している3つの要件を満たす必要があり、また、登録した団体が実際に指導者として学校へ行く際のメンバーは、その団体にお任せすることになる。

野崎構成員

「2環境教育指導者の要件」の「(2) 市民活動団体」の③に「既に市民ボランティアとして登録のある環境教育指導者がその団体に所属していること」とあるが、これから環境教育指導者は新しく認められて指導者になる方もいると思うので、「既に」という言葉はない方がよいと思う。

事務局（松尾課長）

野崎構成員のご意見のとおり、「既に」という言葉は、新規の方と今までの方との区別が分かりづらいので、「既に」を削除することはいかがか。

桐谷副座長

この件について他の方はいかがか。

では、野崎構成員のご指摘のとおり、「既に」の言葉を削除することによろしいか。

事務局（松尾課長）

そのように修正する。

桐谷副座長

他にご意見等はあるか。

確認だが、登録できる3つの要件の①から③は、全てを満たすのではなく、どれか1つを満たせば良いということによろしいか。

事務局（松尾課長）

そのとおりである。

高橋正明構成員

「環境教育指導者は、次に掲げる要件のいずれかに該当し」と記載されている。

桐谷副座長

では、今のご指摘のとおり、進めていただきたい。

◆議題1 今後の「環境教育・環境学習ネットワーク会議」について

[事務局からの説明]

環境教育・環境学習マスタープランの次期計画策定に向けて、構成員の次期任期となる今年8月からの2年間は、構成員の皆様から計画策定に関するご意見をお聞きすることを中心とした会議の開催としたい。

また、将来的な会議のあり方についても併せて検討していきたい。

桐谷副座長

ただ今の説明に対してご意見等はあるか。

野崎構成員

次期構成員に保育園長が入ってくださることは、今までの「エコ育」の実施の経過もあるので、大変良いことだと思う。

また、今まで小学校だけだったが、小・中学校が環境教育の対象となっているので、中学校の先生にも1校でも良いので参加していただくと、中学校の環境教育の広がりのきっかけがしやすいと思うがいかがか。

事務局（松尾課長）

保育園については「エコ育」を進める関係もあり構成員として入っていただき、また、学校については先生もお忙しいと思うが、小学校だけではなく中学校の先生にも構成員として入っていただけるよう、教育委員会と相談していきたい。

桐谷副座長

野崎構成員の意見を事務局で検討していただくとのことだが、市下構成員はいかがか。

市下構成員

中学校の先生が入っていただけると良いと思う。

事務局（鈴木係長）

教育委員会の指導主事の方は、現場で直接教壇に立たれていた小学校又は中学校の先生であるため、人事異動もあると思うが、小学校だけではなく、小・中学校のバランスを取りながら、先生方が構成員として参加できるよう、教育委員会にも相談していきたい。

桐谷副座長

他にご意見等はあるか。

先程、ネットワーク会議の役割そのものについても再考するとの説明があったが、場合によっては収束するのか、それとも、もっと発展的な部分があるのか、もう少し話をお聞きしたい。

事務局（松尾課長）

今回提案したネットワーク会議の役割については、「環境教育・環境学習マスタープラン」を平成20年3月に策定し、その後、「環境教育・環境学習ネットワーク会議」を設置し、皆さんから施策へのご意見等をいただきながら会議を進めてきた。

この第5期で10年が経過し、次期第6期の任期中には「環境基本計画」を見直す時期になり、この会議でご意見をいただいていた「環境教育・環境学習マスタープラン」も令和3年度末で計画期間が終了するので、第6期で一区切りさせていただき、その後この会議をどうしていくかについて、例えば、この会議の役割として施策等の検討組織が良いのか、事業を実施していく会議とするのか、何か別の形が良いのか、又は廃止という選択肢も含めて、皆さんからご意見をお聞きしながら検討していきたいと考えている。

併せて、これから2年間をかけて新たな「環境基本計画」を策定していく中で、「どのようなことを書き込んでいくのか」、「どのようなことを進めたら良いのか」など、今後の環境教育・環境学習に関する施策等へのご意見をお聞きすることを中心とした会議にしていきたいと考えている。

また、これまでの「よこすかECO通信」や「人材育成講座」については軌道に乗り定着化してきたので、これらは基本的には事務局で進めさせていただくこととし、「よこすかECO通信」の内容・確認や「人材育成講座」の場所・内容については、これまでどおり、構成員の皆様にご相談・ご連絡する形でこの2年間は進めさせていただきたい。

桐谷副座長

ただ今の説明に対して、又は他の部分に対してご意見等はあるか。

内船構成員は色々と活動をされているが、いかがか。

内船構成員

博物館としては、この会議に参加して市の色々な機関、学校、環境学習をしている団体、個人の方々と「環境教育・環境学習ネットワーク会議」を通じたご縁ができ、また、博物館が環境教育に関係することで色々な活動の幅を広げることができ、非常に意義のある会議であった。

「環境教育・環境学習マスタープラン」を変えていく中で、次はどのようになっていくか次第だが、「環境教育・環境学習ネットワーク会議」を通じて非常に有意義な活動をさせていただいた。

桐谷副座長

高橋直人構成員、いかがか。

高橋直人構成員

この会議には途中から参加させていただいているが、当初の目的があつてこの会議が設置されていると思うので、環境企画課で「このようなものがあるべきだ」というところが大切だと思っていて、それに基づき、我々が参加していければ良いと思う。

桐谷副座長

他にご意見等はあるか。

高橋正明構成員

今後、この会議をどうしていくかは、次の「環境教育・環境学習マスタープラン」の内容によるとのことで、それはその通りだと思うが、10年程度の長いスパンでの計画になると思うので、その途中途中でどのようなことをするのかについて色々議論する機会は何らかの形で持つことができれば、正しい方向に少しずつ修正できていく感じがある。

そのような考え方もマスタープランの中にも取り入れていくことはこの会議の結果として大事だと思う。

今後、このメンバーも含め議論していくので、その辺りの考え方がどこまで反映できるのか、また、反映した方が良いとの意見があれば、その方向も1つの考え方だと思うので、あまり余談は持たずに必要な方向に持っていく議論ができれば良いと感じる。

事務局（松尾課長）

この「ネットワーク会議」自体は、顔を見ながら色々な立場の方が集まり話す機会として大切であり、この中で、個人として、また、団体・企業の立場でのご意見でも結構なので、次の計画策定に向けた皆さんのご意見をいただき、できる限り反映していきたい。

また、その後の会議についても、皆さんのご意見等をお聞きしていきたいと考えているので、この2年はそのような形で進めさせていただきたい。

桐谷副座長

吉田構成員、いかがか。

吉田構成員

「環境教育・環境学習マスタープラン」の「学校での取り組みの推進」を読んだが、小学校の立場からすると来年度から新しい学習指導要領が始まる中で地域が主軸になっていく。

学校が「総合的な学習の時間」を中心に地域に出てたくさんの物事を学習していく中で、「総合的な学習の時間」に限って言えば、各学校一学年は環境をやっている学校が多いが、教える立場の教師が地域のことをなかなか知らない現実があるので、自分たちが職員に発信していかなければいけない。

具体的な取り組みの実践で教員に対する環境研修や三浦半島生物多様性保全の天白氏の研修があるが、そのようなものを校内にも広げたり、研究会などで広めたり、少しずつ裾野が広がっているような気がする。

そのような意味ではこの「環境教育・環境学習ネットワーク会議」は意味があり、より地域を巻き込んで学習し、子どもたちの力が身についていくことに繋がっていくと思うと有意義な会議であると思う。

桐谷副座長

稲構成員、いかがか。

稲構成員

授業を行う立場の教師が地域の自然や環境のことをなかなか知る機会が少なく、それ以外にもやるものがたくさんある中で、「総合的な学習の時間」で環境教育に取り組もうとしても、なかなか自分たちの学校の地域を見てもらうことができない。

環境企画課で天白氏の研修を考え、各学校に呼びかけていただき、手を挙げると地域の自然について教えていただける。

天白氏に地域の自然を教えていただき、講師として授業に入っていただくことは、知らなかったことを知ることができ、先生方も子どもたちも環境のことを少しずつ学べていると思っている。

是非、この会議を通して環境教育について学べる機会が増えると良いと思っている。

先程もご意見があったが、私もこの会議に長く携わっていて把握しているが、会議として停滞していると感じているので、また違う新しい環境教育に係ることが皆さんと一緒にできれば嬉しいと思っている。

桐谷副座長

何か切り替わるタイミングで色々なものを将来に向けての形で考え直していくことが必要だと思う。

今まで、年3回、概ね6月、10月、2月頃に開催していたのが、今後は不定期になり、その都度声がかかるとのことだが、これについて皆さんはいかがか。ある程度時期が決まっていた方が参加しやすいなど参加者の立場からいかがか。

事務局（鈴木係長）

開催日程については、市の広報紙に傍聴記事を載せる締め切りの関係もあり、早めに調整しているのが現実である。

桐谷副座長のご意見の通り、ある程度時期が決まっていた方が良いというのはもっともではあるが、新たな「環境基本計画」策定については環境審議会でご意見等をお聞きする予定であり、その中で「環境教育・環境学習マスタープラン」との摺合せもあるので、環境審議会の開催時期等によってはこの会議の開催時期や回数が増減する可能性がある。

なお、今年度についてはこれまで通り、6月、10月、2月の3回の開催を予定している。

事務局（松尾課長）

会議を開催する際は、できる限り早めに日程調整をさせていただく。

桐谷副座長

よろしく願いしたい。

佐藤構成員、いかがか。

佐藤構成員

資源循環部では廃棄物行政を行っているが、廃棄物の大元は環境問題からきているのではないかと思う。

ごみを減らす、ごみを資源化することの啓発の中で、横須賀市ではどのようなことを目指しているかを大人から子どもに説明しているが、ごみは環境とは切り離せない。

ごみを減らさなければならない大きな原因は、ごみを埋める場所がないこと。横須賀市を始め、日本全国で最終処分場がない状況であるが、そもそも土地にごみを埋めること自体、環境には良くないことである。

大きな視点でいうと、環境問題から見たごみ行政、また、逆にごみの問題は非常に大きく環境に影響すると思うが、市役所の中で資源循環部と環境政策部の接点が少ないので、このような会議に参加させていただきありがたいと思っている。

桐谷副座長

渡辺構成員、いかがか。

渡辺構成員

今年度、小学校から教育指導課に異動になり、「総合的な学習の時間」を担当している。先程の意見の通り、来年度から学習指導要領が変わるが、「総合的な学習の時間」においては昨年度から新しい学習指導要領で本格実施している。

その中で「カリキュラムマネジメントをしていきましょう」と大きく言われているが、「カリキュラムマネジメント」の側面として、「他教科との連携」のほか、「内部外部人材の活用」が非常に言われていて、その中でも、「教育資源をリスト化して活用していきましょう」と言われている。

この「環境教育・環境学習ネットワーク会議」は非常に重要であり、これをいかに色々な学校に伝えて振動させていくのが教育委員会の役目と思っているので、このようなものを活用して、子どもたちのために環境教育が広がっていくと良いと思っている。

野崎構成員

先程の佐藤構成員の話だが、横須賀市の一般廃棄物処理場が新しく大楠山近くに建設中だが、それに伴い収集方法や細かい規則などの変更があるかと思う。

それは改めてもう一度、廃棄物のことから環境のことまでを子どもたちはもちろん、大人も含め、考え直す良い機会、大事な機会だと思う。

廃棄物、ごみ関係の環境問題を捉え直す機会として、環境教育の分野でも効果的に対応ができると良いと望んでいる。

佐藤構成員

一番大きく変わるのは「製品プラスチック」で、今は「不燃ごみ」として扱っているが、「燃せるごみ」になる。

「プラスチックを燃やして大丈夫なのか」との議論があったが、最新型で高温で燃やすことでダイオキシンが出ないことや色々なフィルターにより安全性が確保されているとの説明をしている。

今のスケジュールでは、今年の11月に試験稼働を行い、来年3月に引き渡しがあり、本

格稼働する予定である。

桐谷副座長

構成員の皆さんから貴重な意見をたくさんいただいたので、今後、事務局で検討を進めていただきたい。

本日の議題は以上になるが、構成員の皆さんから全体を通して何か他にあるか。

内船構成員

馬掘自然教育園開園 60 周年の記念として、7 月 27 日から横須賀市自然・人文博物館の特別展示として「おいでよ！まぼりの森－馬掘自然教育園の 60 年とこれから－」を博物館本館で開催する。博物館本館で馬掘自然教育園の自然と歴史を分かりやすく解説する展示を行う。

また、ネットワーク会議の教員向け人材育成講座を 7 月 30 日に「馬掘自然教育園」で行う予定なので、横須賀市の 1 つの代表的な自然を観察できる場所である「馬掘自然教育園」の環境を知っていただきたいと思っている。

追加でチラシを必要な場合は連絡をいただきたい。

野崎構成員

この展示に団体や子どもたちで伺う時は、日時の調整など早めに連絡をすれば良いか。

内船構成員

自由見学と学芸員の説明を希望する場合があるが、学芸員の説明を希望する場合は事前に調整させていただきたいと思う。

自由見学は当日受付で団体見学の旨、伝えていただければと思う。

桐谷副座長

事務局からいかがか。

事務局（大場主任）

7 月 30 日（火）午後に「馬掘自然教育園」で教員向けの人材育成講座を行う予定だが、講師には内船構成員をはじめ、博物館の学芸員の方 3 名に来ていただき、小学校、中学校の先生方を対象に講座を開催する。

申し込み状況は定員 30 名のところ、現在 21 名の申し込みがある。

当日までに若干の変更はあると思うが、たくさんの先生に参加していただきたいと思っている。

桐谷副座長

他にご意見等はあるか。

では、事務局から事務連絡をお願いします。

◆その他 事務局から事務連絡

事務局（大場主任）

事務連絡が3点ある。

1点目は、本日の議題について追加のご意見等があれば7月12（金）までに事務局へご連絡をいただきたい。

2点目は、第5期の構成員の任期については7月末日までとなるため、本日は任期中の最後の会議となる。

次期構成員の参画については、団体に所属されている構成員の方には本日、机上に配付した「次期構成員の就任の確認について」を7月12日（金）までに事務局へ提出していただきたい。なお、行政の構成員の方は改めて依頼を行う。

次期構成員としてご参画していただける場合には、改めて「推薦書」及び「就任承諾書」等を送付する。

3点目は、6月に発行した「よこすかE C O通信第33号」を参考に配付したので、ご覧になっていただきたい。

今後も協力をいただくことがあると思うので、よろしくお願ひしたい。

最後に、本日は第5期任期中の最終の会議となるため、環境企画課長からお礼を申し上げます。

事務局（松尾課長）

〔第5期 お礼の挨拶〕

桐谷副座長

以上をもって第29回ネットワーク会議を終了する。